

2020年度 事業報告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

I. 法人事業

1. 組織運営

1) 理事会

	日程	内 容
第68回	5月31日	2020年度 事業経過報告、2019年度 事業報告・決算、2020年度 事業計画一部変更、経理規定一部改正、保育指針一部改正、定期総会招集
第69回	12月6日	2020年度 事業経過報告、2020年度 第一次補正予算、育児・介護休業等に関する規定一部改正、退職金規定一部改正、経理規定一部改正、新型コロナウイルス感染症におけるマニュアル
第70回	3月21日	2020年度 事業経過報告、2020年度 第二次補正予算、就業規則 一部改正、非常勤職員就業規則 一部改正、再雇用職員就業規則 一部改正、育児・介護休業規定 一部改正、給与規定 一部改正、旅費規程 一部改正、マイカー通勤規定、個人情報保護規定 個人情報取扱マニュアル、児童への不適切な対応についてのガイドライン、第5期中期計画、2021年度 事業計画、2021年度 当初予算

2) 評議員会

評議員は定期総会で選出し、理事会の諮問機関の役割を担うものとして、年3回開催した。

	日程	内 容
第24回	5月31日	2020年度 事業経過報告、2019年度 事業報告・決算、2020年度 事業計画一部変更、保育指針一部改正
第25回	12月6日	2020年度 事業経過報告
第26回	3月21日	2020年度 事業経過報告、2021年度 事業計画、2021年度 当初予算

3) 事務局

- (1) 事務局は理事会の日常業務の執行機関であり、組織運営に関する業務を行う。
- ①4月～5月：金井・鶴川・どろん子・南大谷クラブ指定管理者選定準備。
 - ②4月～6月：事業報告書および決算書を作成し、関係諸機関へ提出。
 - ③6月：定期総会を開催、町田市の管理運営状況評価（モニタリング）を作成。
 - ④理事会および評議員会の議案を作成し、運営。
 - ⑤特別保育の利用料徴収業務を行う。
 - ⑥関係諸機関・団体との連携を図る。

(2) 事務局会議を毎月開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行う。

	内 容
4月	新型コロナウイルス感染症への対応、クラブ状況報告
5月	新型コロナウイルス感染症への対応、評議員会・理事会にむけて、高学年保育PJ活動内容
6月	利用者アンケート、定期総会にむけて、7月運営委員会議題整理
8月	2019年度モニタリング結果、9月運営委員会議題整理、中期計画について
9月	利用者アンケート、高学年保育PJ、専門性PJ、にじいろキッズ活動内容、中期計画、正規職員採用・昇級試験スケジュールについて
10月	11月運営委員会議題整理、次世代行動計画アンケート、にじいろキッズ活動内容、評議員会・理事会に向けて
12月	新型コロナウイルス感染症への対応、次世代行動計画アンケート結果、高学年保育PJ活動内容
1月	新型コロナウイルス感染症の対応、定数協議報告、クラブ状況報告
2月	2月運営委員会議題整理、21年度ぶちくれよんひろばの活動内容、進級式等オンラインの配信、利用者アンケートの回答について、中期計画について
3月	児童への不適切な関わりについてのガイドライン、2021年度事業計画、中期計画、就業規則等の改訂について

4) 委員会活動

(1) 人事委員会

人事委員会は、正規職員の採用および配置、昇級試験を中心とした活動を行った。また、組織として職員の人事に関する情報を把握することに努めた。

	内 容
10月	2021年度 採用計画、第1回正規職員募集、昇級試験について
	2021年度 第1回正規職員選考
11月	2021年度 昇級試験
12月	2021年度 第2回正規職員選考
	2021年度 第3回正規職員選考
1月	2021年度 第4回正規職員選考

(2) 運営委員会

運営委員会は、①組織・事業全般に関し、理事と施設責任者で業務執行状況の確認および調整、②組織内の重要事項の確認、伝達等、③保育指針・倫理綱領の検討を行った。

	内 容
4月	新型コロナウイルス感染症に関する報告、職員担当・PJ企画案、保育指針、事業計画について
9月	施設長会議、9月高学年保育懇談会報告、新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、第5期中期計画、保護者とのつながりについて
11月	新型コロナウイルス感染症防止策、利用者アンケート、職員担当・PJ、上半期苦情報告、各クラブ懇談会、個人面談実施状況、第5期中期計画について
2月	職員担当・PJ総括、企画案、第5期中期計画について

(3) 苦情解決委員会

苦情解決制度に基づき、第三者委員を含め苦情解決委員会を例年、5月と11月に開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から5月の開催は中止し、11月に2019年度下期と2020年度上期の各クラブに寄せられた苦情内容を第三者委員へ報告し、検証を行った。

(4) 調査研究委員会

「高学年保育」について活動予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面での実施は難しいと判断しオンライン形式の「高学年保育懇談会」の開催に変更した。

5) 施設責任者会議

毎月開催し、職員研修、施設・組織運営に関する諸課題について検討を行った。また、必要に応じて臨時責任者会議を開催した。

	内 容
4月	新型コロナウイルス感染症の対応、保育指針、高学年保育PJ、4月運営委員会議題について
5月	新型コロナウイルス感染症対応策、事業計画について
6月	新型コロナウイルス感染症対応策、事業報告、7月運営委員会議題、にじいろキッズアンケート、高学年保育PJについて
7月	施設長会議報告、ステップアップシート、新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、夏休みの生活、8月保護者会懇談会の内容について
9月	施設長会議報告、新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、にじいろキッズニーズ調査、保護者との関わり、9月運営委員会議題内容について
10月	コロナ禍における個人面談・懇談会の開催方法・保育内容・備品購入について
11月	第4期中期計画の総括について
12月	事業報告、計画、中期計画、高学年受け入れにむけて
1月	職員全体研修、ステップアップシート、事業報告書について
2月	2月運営委員会議題整理、ぷちくれよんひろば、進級式オンライン配信、利用者アンケート、第5期中期計画について
3月	第5期中期計画について

6) 職員会

(1) 正規職員全体会

職員教育および情報共有を目的に、施設責任者が運営を担当した。

(2) ブロック会議

毎月ブロック会議を開催し、施設運営（事故対応、苦情解決、施設の管理等）に関する情報共有および業務改善への指導を行った。情報を共有することで、正規職員の職員教育および業務標準化を図った。

(3) プロジェクト等、課題別の会議

①ぶちくれよんひろば

今年度の開催は、新型コロナウイルスの影響で難しかった。次年度、開催するにあたり新型コロナウイルス感染予防対策として保護者向けの案内と職員向けの覚書を作成した。今後、屋外開催やICTを活用し、各種感染症が流行しても地域の乳幼児やその保護者が継続的に交流できる場を提供できるように準備を進めていく。

②にじいろキッズ

学童クラブを卒会した4年生と過去ににじいろキッズを利用したことのある5、6年生を対象に、ニーズ調査アンケートを実施し、178件回答をいただいた。アンケートの結果を受けて、2021年度以降も春休みは従来のにじいろキッズを続けることとした。また、新たな高学年の居場所事業を始めるべ2021年度より準備を行い、2022年度の夏の開催を目指す。

学童クラブでの中学生ボランティアの受け入れについて、ガイドライン案を作成した。

③広報紙くれよん

年間計画に従って、広報紙の記事編集、発行を行った。グーグルアンケートを用いた、保護者の声を取り入れる試みとして子育てに関するお悩みとそれに対するアドバイスを募集し掲載した。記事の内容についての保護者の意見の聞き取りを予定していたができなかったため、次年度の課題とする。

④専門性プロジェクト

中期計画に基づき保育の質の向上と標準化を目指し、ステップアップシートの見直しを行った。フォームの改訂だけでなく、活用の仕方をまとめた覚え書きについても作成をした。目標に向けて月ごとの行動計画を立て、振り返りができるようにした。また、責任者と進捗状況の振り返りをし、半期ごとに、取り組み方や行動計画の見直しができるようにした。2021年度より活用する。

⑤高学年保育プロジェクト

2021年度より開始される高学年保育の円滑な受け入れを行うための活動を行った。高学年児童の発達理解や高学年保育の内容をテーマに、職員研修を2回企画・開催した。保護者参加で高学年保育についての懇談会を9月、12月にオンラインで開催し、延べ50名の参加があり保護者より意見を聞く機会となった。懇談会の内容については広報紙「くれよん」に掲載し、全保護者への報告を行った。職員アンケートの取り組みを行い、遊具や図書に関して全クラブで統一して準備をするものを整理し、提案を行った。

当初は、保護者参加の調査研究委員会を開催する予定であったが、感染症対応のため、委員会の発足は見合わせた。

2. 人財育成

1) 全国学童保育連絡協議会主催

日 程	名 称	場 所	参加者
11月22日	全国学童保育指導員学校	オンライン	39名

*全国学童保育研究集会 中止

2) 児童青少年課主催 研修会

(1) 放課後児童支援員資質向上研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
7月29日	児童虐待への対応と関係期間との連携	市役所	9名
9月7日	相談援助技術	市役所	18名
10月9日	中学年・高学年の子どもの発達とかかわり方について①	町田市文化交流センター	18名
		オンライン	31名
10月30日	高学年の子どもの発達とかかわり方について②	町田市文化交流センター	18名
		オンライン	31名
11月25日	高学年児童受け入れの運営	市役所	15名
		オンライン	34名
2月25日	愛情が薄い子へのかかわり方	オンライン	43名
3月17日	学童保育クラブにおける遊び～子どもたちの主体性を引き出すレクリエーションの展開方法	オンライン	28名

*情報交換を主な目的とした交流研修会 中止

3) 東京都主催の研修

(1) 東京都放課後児童支援員資質向上研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
9月25日	「子どもの人権と放課後児童支援員としての職場倫理」 「障害のある子どもへの対応（発達障害児への対応を中心に）」 「保護者・学校等との連携・協力」	武蔵野スイングホール	3名
10月1日		トヨタドライビングスクール東京	2名
10月8日		LEC新宿エルタワー本校	1名
10月26日		北とぴあ 飛鳥ホール	1名
11月4日		LEC水道橋本校	5名
3月3日		オンライン	2名

4) 子育て推進課主催の研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
10月6日	相談援助の基本	市役所	8名

5) 職場内研修

(1) 初任者・常勤職員（有期雇用）研修

日 時	テーマ	場 所	参加者
7月3日	個人情報保護	オンライン	9名
7月30日	記録の取り方①	どろん子	9名
9月15日	発達	オンライン	9名
10月6日	メンタル対策にむけて～セルフケア～	高ヶ坂けやき	8名
11月26日	苦情解決①	成瀬中央あおぞら	8名
12月18日	保護者との関わり	成瀬中央あおぞら	5名
1月20日	集団作り	オンライン	7名

(2) 中堅者研修

日 時	テーマ	場 所	参加者
7月21日	実践検討①	オンライン	9名
10月27日	保護者会支援	高ヶ坂けやき	8名
10月27日	実践検討②	どろん子	9名
11月26日	子育て支援	どろん子	2名
12月18日	OJT担当者研修	鶴川	6名
12月18日	福祉サービスの組織性②	公民館	7名
1月20日	人事考課	オンライン	9名
1月28日	実践検討（2年次グループ）	オンライン	9名
2月15日	実践検討（4年次以上グループ）	オンライン	7名
2月12日	苦情解決②	オンライン	4名

(3) 管理者研修

日 時	テーマ	場 所	参加者
9月1日	人事考課研修	オンライン	8名
11月20日	自己啓発	公民館	9名

(4) 常勤職員研修

日 時	テーマ	場 所	参加者
10月23日	高学年児童の教室での様子	オンライン	49名
1月25日	ビジネスコミュニケーション	オンライン	50名

(5) 全職員研修

日 時	テーマ	場所	参加者
12月14日	ビジネスマナーとコミュニケーションマナー	オンライン	127名
2月17日	マルトリートメント	オンライン	104名

6) 資格習得

種 別	参加者		
放課後児童支援員認定資格	4名	非正規常勤職員2名	非常勤7名
普通救命救急	3名	非正規常勤職員6名	非常勤50名
上級救命救急講習	3名		
防火防災管理者講習	3名		
衛生推進者	5名		

7) 東京都社会福祉協議会主催の研修

日 程	テーマ	参加者
WEB配信	福祉職場に求められるリーダーシップのあり方	13名
WEB配信	信頼関係を深め、やる気を促す育成面談	10名

8) 事務局研修

日 程	テーマ	主催	参加者
4月24日	新型コロナウイルス感染拡大下での安全な保育実践のための「衛生管理」	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	13名
WEB配信	公正採用選考と会社を元気にする人権	東京都福祉保健財団	1名

9) その他

日 程	テーマ	主催	参加者
4月24日	新型コロナウイルス感染拡大下での安全な保育実践のための「衛生管理」	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	13名
WEB配信	小児の食物アレルギーの基礎知識と対応	東京都福祉保健財団	4名

3. 啓発活動

1) ニュース発行

(1) 広報紙「くれよん」の発行

法人の広報紙「くれよん」を隔月で1000部発行した。「にじいろキッズ」・「ぷちくれよんひろば」の活動について、各クラブの様子の記事等を掲載し、隔月で年6回発行をした。また、法人クラブ全体の保護者を対象にした高学年懇談会が行われたため、報告の特別号を2回発行した。

(2) 「ぷちくれよんだより」の発行

「ぷちくれよんひろば」を利用する保護者にむけて、毎回の企画の紹介や、子育てに役に立つ情報を中心に「ぷちくれだより」を3回発行予定であったが、開催中止となったため発行しなかった。

2) ホームページの充実

法人ホームページは事務局にて管理を行い、広報紙や求人案内等を随時更新した。2021年度は、より情報を充実させるため全面リニューアルを予定している。

3) 「日本の学童ほいく」誌の普及

「日本の学童ほいく」誌は日本で唯一の学童保育に関する専門雑誌である。2020年度は55部の購読申込みがあったが、前年度比で5部減となり、職員のみ申し込みとなった。

4. 子育て支援事業

1) ふちくれよんひろば（乳幼児の子育て支援事業）

地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくし、子育て支援ネットワークづくりに貢献することを目的に、「ふちくれよんひろば」事業を5カ所で実施を予定していた。しかし、新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令されたため、2020年度は支援事業の開催を実施しなかったが、地域子育てセンターの会議にはできる限り出席し、情報共有を行った。2021年度は乳幼児とその保護者との繋がりが途絶えないように新たな開催方法を検討し、2カ所（そよかぜ・南大谷）から実施していく。今後も、地域子育てセンター及び関係機関と連携・協同のもと、乳幼児の子育て支援事業の充実を図っていく。

2) 子どもの居場所事業（にじいろキッズ）

学童保育を卒会した4年～6年生を対象に、春休み・夏休みに5地区（高ヶ坂地区、鶴川地区、忠生・図師地区、南地区、成瀬地区）で実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となった。

にじいろキッズで過去に実施した工作やあそびの中で好評だった4種類をホームページに掲載し、感染症対策により家庭で過ごす時間が増える中で家庭でのあそびの幅を広げられるようにした。

5. 保護者会活動への支援

保護者同士が子育ての悩みを共有し経験を交流しあえる場となるよう、保護者会活動の支援を行った。

1) 各保護者会と法人との懇談会

各クラブ保護者会相互の交流を図るとともに、法人との情報交換および連携を深めるため懇談会を定期的で開催した。コロナ禍における保護者会の活動について、各クラブで工夫していることや悩み等を交流した。

	内 容
8月	自己紹介、施設長会議報告、高学年受け入れについて
12月	新型コロナウイルス感染症対策、高学年保育受け入れ、保護者会活動について
2月	ソフトボール大会、保護者会懇談会について

2) 保護者会交流行事

毎年実施しているソフトボール大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

6. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

- (1) 事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。また、児童青少年課主催の施設長会議に出席した。
- (2) 「地域子育て支援ネットワーク連絡会」「特別支援 学校連絡協議会」共に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。地域子育て支援ネットワーク連絡会は、子ども家庭支援センターの職員が各クラブを訪問し情報交換を行った。また、特別支援 学校連絡協議会は各学校と情報共有を行った。
- (3) 東京都子供・子育て会議委員を依頼され、職員を派遣した。

2) 学童保育に関する団体との連携

学童保育に関する課題が生じた際、「町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会」（父母連協）との連携を図っているが、2020年度は特に課題がなかった。

3) 他の学童保育事業を行う法人との連携

(1) 町田市学童保育運営者協議会

市内で学童保育を運営する他の法人と 10 月にコロナ禍における保育内容について情報交換を行った。例年、学期に 1 回の開催であったが、2020 年度に関しては 10 月の 1 回の開催となり、運営者協議会主催の合同研修会は見合わせとなった。

(2) 町田市社会福祉協議会（社協）

社協が主催する児童の絵画展の選考委員を依頼され、事務局が協力を行った。必要に応じて学童保育事業担当者との情報交換を行った。

7. 学童保育の充実にむけた運動の支援

町田の学童保育を充実させるために、諸課題に対し運動の支援を行うことを方針としているが、2020 年度は具体的な活動を行っていない。

8. 会員拡大

20 年度はにじいろキッズ、ぷちくれよんひろばが開催できなかったため、これまで会員であった方のみで会員になっていただく呼びかけを行った。会員数が減少しているため会費の使用用途などをホームページ等で周知し、法人の趣旨・理念に賛同する会員を増やしていく。

(2020年4月1日～2021年3月31日)

区分		2019年度	2020年度
正会員	団体会員	13	13
	個人会員	63	63
賛助会員	個人会員	58	35
計		134	111

9. 事業拡大

当法人は、「子どもは地域の中で見守られながら育つ」「地域の中で子育て支援のネットワークづくりに貢献する」といった考え方を大切にしている。学童保育事業を中核としな

がらも、地域子ども達を視野に入れた事業展開を目指しているが、2020年度は主だった活動しなかった。

5月に金井・鶴川・どろん子・南大谷クラブの指定管理者の公募があり、申請書を提出した。9月市議会で当法人が指定され、2021年度より5年間運営をすることが決定した。

10. その他

1) 震災等 支援金活動

各保護者会の協力のもと、全国学童保育連絡協議会が実施している「東日本大震災学童保育募金」および「自然災害学童保育支援募金」へ30万円送金し、震災および自然災害で被害にあった学童保育を支援するため、支援金活動を行った。

2) 「南カフェ」「まちカフェ！」への参加

(1) 2020年度「南カフェ」は実施されなかった。

(2) 2020年度の市民協働フェスティバル「まちカフェ！」はリモート開催となったため、参加を見合わせた。

3) 人材確保の取り組み

人材確保のため、事務局より近隣大学への訪問を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問は見合わせた。また、町田市社会福祉協議会主催合同説明会「福祉のお仕事」には、求人冊子の記載のみおこなった。採用面接に関しては、応募者の希望に沿ってリモート面接を実施した。

II. 学童保育事業

1. 事業展開 (各クラブ事業報告書：別紙参照)

10月に発表された、2019年度の「公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果（モニタリング）」において、問題点等の指摘事項は特になかった。

また、1月に町田市の会計・経理・労働条件モニタリングが行われた。会計・経理については事務局が説明し、帳票類を提出したところ、問題点等の指摘事項は特になかった。労働条件については、初めての実施であったが、正規職員の労働契約書を作成していない等の指摘があった事項については速やかに改善した。

2. 苦情解決

苦情内容	2019年度	2020年度
職員の対応に関する不満	42	32
近隣からの苦情	1	1
その他	9	5
計	52	38

	上半期	下半期	合計
意見等	121	94	215
苦情の割合	14.0%	22.3%	17.8%

当法人の苦情解決制度は原則として利用者を対象としているが、近隣地域からの苦情にも対応を行っている。苦情内容は、11月に開催した苦情解決委員会にて第三者委員に報告、および町田市に報告書を提出した。なお、寄せられたご意見・要望の総数に対する苦情の割合は、下記の通りであった。年度当初に個人面談が行えなかったことで、保護者の不安が大きくなり、上期のご意見等が昨年度に比べ増加した。しかし、苦情の割合としては、昨年度の25%から17.8%にさがり、特に出欠席・降所に関するミスに対する苦情が減った。法人クラブ内で統一した降所の方法により、大きなミスが防げるようになったためと考えられる。各クラブの報告内容については、クラブの支援員会議で情報共有を行い、同じようなことが起きないように再発防止に努める。

3. 事故防止

1) 事故件数 (医療機関にかかった場合)

	児 童				職 員		児 童 の ケ ガ	
	傷 害		賠 償		2019年度	2020年度	保 育 中	登 下 校 中
	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度				
大蔵	8	12	0	0	2	3	11	1
大戸のびっ子	1	1	0	0	1	1	1	0
金井	0	2	0	0	0	0	1	1
高ヶ坂けやき	2	4	0	0	0	0	4	0
函師	6	4	0	0	1	1	4	0
そよかぜ	4	7	0	0	0	1	7	0
つくし野	5	3	0	0	0	0	3	0
鶴川	1	3	0	0	0	0	3	0
どろん子	2	0	0	0	0	0	0	0
なかよし	4	3	0	0	0	1	3	0
成瀬中央あおぞら	6	3	0	0	0	0	3	0
南大谷	6	5	0	0	0	0	5	0
わんぱく	3	4	0	0	0	1	4	0
計	48	51	0	0	4	8	49	2

2019年度の件数より若干増加した。保育中のケガの大半は打撲・捻挫・切り傷であり、骨折が5件あった。職員のケガも増加したため、事故防止に努める。

2) おやつ提供時の管理

(1) 食物アレルギー対策

マニュアルおよびチェックリストに基づき、全クラブにて毎日のおやつ提供時にアレルギー対策を行った。日々の作業や対応における「ヒヤリ・ハット事例」については、毎月のブロック会議にて報告し、全クラブにて共有化を行った。また、初任者を中心に食物アレルギーに関する研修に参加し、知識および対応方法等を習得した。

3) その他

(1) 学童クラブの開所対策

学童クラブの鍵の受け渡しができず、土曜日の開所が遅れた事故が起きたため、各クラブの外にキーボックスを設置した。また、鍵がキーボックスに保管されているか定期的に確認することとした。

(2) 電話対応対策

支援員の聞き取りミス防止のため、各クラブにナンバーディスプレイと録音機の導入をした。表示のない電話が来た際は、通話相手に表示のお願いをし、録音機能により通話後でも通話相手や内容が確認できるようにした。

(3) 児童への不適切な対応の防止

児童への支援が適切に実践できるよう、「施設内における職員の不適切な対応」をテーマに法人全職員対象に研修を実施し、「児童への不適切な対応についてのガイドライン」を作成した。ガイドラインを活用し、今後も定期的に職員研修を実施していく。

(4) おやつ代管理について

2020年度のおよつ代の決算において、赤字となったクラブがあった。その件に関しては法人会計より補填し、該当クラブの保護者へは謝罪と報告を行った。引き続きすべてのクラブにおいて事務局による学期ごとの監査と、年1回の保護者会による監査を実施する。該当クラブの保護者会の協力を頂き、監査の回数を増やし学期ごと（年3回）に実施することとした。

4. 利用者アンケート

10月に行った利用者アンケートで、全体的に評価が高いのは、「季節感のある取り組み」「指導員の態度・対応」「支援員と家庭との連絡」等であった。

クラブにより若干の差があるものの評価がやや低かった項目は、「子育て相談」「要望・意見・苦情対応」であった。子育て相談については、「お迎えの際の会話が減った」「職員に声をかけづらい」等の指摘があがっているため、職員教育を徹底していく。面談、連絡帳、電話の活用をし、保護者が職員にいつでも相談できる関係を構築していく。また、継続的に研修を受け職員の相談援助技術をスキルアップしていく。

総合的満足度は13クラブで83%～97%と比較的満足が得られている。しかし、「保護

全世帯数	回答数	全クラブ平均
824	734	89.10%
	前年度	86.40%

者相互の交流」に関する項目が低く、「負担に感じる」という指摘がある一方、「親睦を深めたいが、機会がなくなり残念だ」という声もあがっている。保護者会と連携し、保護者同士の交流の在り方を見直していく。

分析結果をもとに各クラブで業務改善に取り組み、その結果を保護者へ配布した。回収率に関しては、前年度と比べて向上したが、13クラブで83%~100%と差があるため、全クラブ90%以上になるよう向上に努める。

5. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

1) 新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの策定

国、東京都、町田市の感染防止対応を参考に法人として対応マニュアルを作成し、室内の換気、遊具や施設の消毒の徹底し感染の予防に努めた。

2) コロナ禍における保育内容について

感染防止を第一に考え、児童の手洗い・うがいの励行、加えてマスクの着用、毎日の検温を行い児童へも感染予防の意識を高める指導を行った。活動場面での密集・密接を避けるために、小学校の教室を借用する工夫やおやつ・昼食等の食事の場面では黙食を意識させるなどの感染症対策を徹底した。行事や取り組みは計画から大幅に内容変更を行うこととなり、緊急事態宣言下では保護者参加の行事は実施することができなくなった。11月以降、従来の対面式だけでなく、オンラインを併用して個人面談・保護者会懇談会を実施した。全クラブへ空気清浄機、飛沫防止パネルを各クラブの備品として購入した。

3) 保育参加、ボランティアの受け入れ、地域開放行事について

全クラブで実施を見合わせた。

6. その他

1) 巡回指導・定期点検

保育の質向上のため、マネージャーがクラブを巡回し、保育見学および職員との面談を行う計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から巡回は実施をしなかった。マネージャーが保育サポートに入った際には巡回指導を行うことにとどまった。おやつ代の監査を年間通して行った。

2) 職員のメンタルヘルス

職員の安全衛生を推進するため、セルフチェックを年2回実施した。また、7月に新規採用の職員にむけた講習を実施した。

3) 通所支援事業

都立町田の丘学園に通う児童のうち、通所支援事業（学校のバス停から学童保育クラブまでの職員によるお迎え）の利用者はいなかった。

Ⅲ. 児童数と職員体制

1. 児童数および職員配置 (2020年4月1日～2021年3月31日)

クラブ名	支援の単位数	職員			児童数			
		正規	常勤 (非正規常勤)	非常勤	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	3	4	1	3	121	0	21	100
大戸のびっ子	1	2	0	2	21	3	5	19
金井	3	2	2	7	90	1	18	73
高ヶ坂けやき	2	3	0	7	71	1	16	56
図師	3	4	2	9	88	2	8	82
そよかぜ	2	3	0	7	54	6	5	55
つくし野	2	3	0	5	63	0	5	58
鶴川	2	3	1	4	85	5	13	77
どろん子	3	3	3	10	120	2	16	106
なかよし	2	3	0	6	59	4	14	50
成瀬中央あおぞら	1	2	1	3	40	3	4	39
南大谷	3	4	0	10	102	3	15	90
わんぱく	2	3	1	5	56	1	11	47
事務局		4	0	0				
計	29	43	11	78	970	31	151	852

2. 人事

1) 採用

	雇用形態	所属
4月1日	正規職員	大蔵
	正規職員	図師
	正規職員	そよかぜ
	正規職員	つくし野
	正規職員	事務局
4月1日	非正規常勤職員	金井
	非正規常勤職員	わんぱく
	非正規常勤職員	南大谷
	非正規常勤職員	わんぱく
4月14日	非正規常勤職員	大蔵
	非正規常勤職員	南大谷
5月25日	非正規常勤職員	南大谷
6月1日	非常勤職員	どろん子

	雇用形態	所属
8月3日	非正規常勤職員	大蔵
	非正規常勤職員	南大谷
	非常勤職員	そよかぜ
	非常勤職員	高ヶ坂けやき
9月14日	非常勤職員	図師
9月15日	非正規常勤職員	南大谷
10月5日	非正規常勤職員	南大谷
10月26日	非常勤職員	なかよし
11月9日	非常勤職員	南大谷
12月10日	非常勤職員	図師
	非常勤職員	大戸のびっ子
12月26日	非常勤職員	どろん子
2月8日	非正規常勤職員	わんぱく

他 新型コロナウイルスに伴う臨時開所のため、5名（アルバイト） 夏バアルバイト20名、シルバー人材センターより11名

2) 退職

	雇用形態	所属
7月31日	非正規常勤職員	南大谷
8月31日	非正規常勤職員	南大谷
8月31日	非正規常勤職員	南大谷
1月18日	非正規常勤職員	南大谷
12月31日	正規職員	大戸のびっ子
2月28日	非常勤職員	高ヶ坂けやき
3月4日	非常勤職員	高ヶ坂けやき

	雇用形態	所属
3月31日	正規職員	事務局
	再雇用常勤職員	成瀬中央あおぞら
	非正規常勤職員	大蔵
	非正規常勤職員	南大谷
	非常勤職員	大戸のびっ子
	非常勤職員	高ヶ坂けやき
	非常勤職員	どろん子

3) 異動

	雇用形態	所属・役職	異動内容
4月1日	正規職員	高ヶ坂けやき責任者	なかよしより
		図師責任者	大戸のびっ子より
		なかよし責任者	高ヶ坂けやきより
		大蔵	鶴川より
		大戸のびっ子	成瀬中央あおぞらより
		大戸のびっ子	南大谷より
		金井	大戸のびっ子より
		金井	南大谷より
		図師	大蔵より
		鶴川	そよかぜより
		どろん子	図師より
		どろん子	大蔵より
		成瀬中央あおぞら	図師より
	非正規常勤職員	鶴川	なかよしより
		どろん子	大蔵より
	再雇用職員	金井	正規職員より
	非常勤職員	わんぱく	正規職員より
	正規職員	事務局	非正規常勤職員より
	産休代替	高ヶ坂けやき	非正規常勤職員より
	産休代替	なかよし	非常勤職員より
5月15日	正規職員	わんぱく	産休
8月1日	正規職員	事務局	結婚により改姓
8月31日	正規職員	図師	結婚により改姓
10月1日	非正規常勤	そよかぜ	図師クラブより
1月1日	正規職員	大戸のびっ子	成瀬中央あおぞらより
	非正規常勤職員	成瀬中央あおぞら	南大谷より
3月8日	正規職員	つくし野	産休